

第23回 錦帯橋さくら守 活動実績

平成27年2月20日

1 活動日及び参加者名

2月14日(土) 09:30~15:00

児玉(廣) 杉山 進藤 河本 島崎 田中 大原 志賀 野田 佃

小川 島崎 富田 前田

以上合計 14名

さくら守講座への市民参加者 24名

2 実施作業

(1) 今月の活動予定、作業実施上の留意事項等の説明

(2) 作業内容

場 所	講義内容及び実施項目	備 考
サンライフ岩国	さくら再生プロジェクト	昨年実施した古木の再生方法について講義した。 担当：河本
サンライフ岩国	染井吉野の現状	市内の公園等における天狗巣病発生状況について講義した。 担当：児玉
公園内	天狗巣病の発見駆除	公園内の天狗巣病の状況を調査した。



講義中の様子等

3 今月の気になる木

午前中の講義に引き続き午後は公園内の天狗巣病の搜索を実施した。市役所公園班のみならず当会でも見つけたら処分するというを前提にやってきたつもりではあるがよく見ると小さな着生が散見される。本日の作業では高い枝は時間的に切り落とすことは出来なかったが記録し次回以降に処理する予定である。

4 特異事項

年間の計画で第2回目の「さくら守講座」を実施した。新聞や市報の掲載、チラシの配布等で市民の参加を期待したが何人くらいの聴衆が集まるのか見当もつかない状態ではあった。蓋を開けると約40人位でありまずまずの成果を得たものと感じた。

講義内容については、昨年新たな試みとして古木を再生させる方法を 「さくら再生プロジェクト 錦帯橋さくら守方式」と題して主計画者の事務局長 河本が一連の作業

及び今後の予定について説明した。公園内のさくらは古木が多くこれらの木々を少しでも長く持たせるために手入れの方法を模索することは大切なことである。

先月に天狗巣病の巣窟とでも言うべき場所を見つけたことに鑑み、市内のさくら名所を改めて会員で調査した結果を「染井吉野の現状」と題して会長 児玉が説明した。この病気が蔓延すると木は衰弱し立ち枯れの恐れもある。当会発足当時から実施しているように「発見したら切る」事の大切さを共有した。

5 来月の予定

追加実施

(1) 場 所 会員集合ロープウェイ駐車場

(2) 日 時 3月 9日(月) 09:30~15:00

追加実施の意見があり急遽決めたことで自由参加

天狗巣病の切除

(3) 総 会 3月31日(火) 10:00~12:00

昼食 手入れした木々の成果の確認、記録(晴天の場合)

場所: 検討中につき後令